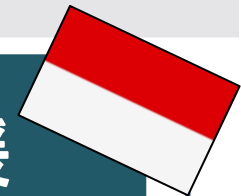


インドネシア 農村・農業セクター開発における JICAの取り組み

2019年12月26日
JICA農村開発部 第一G第一T
東郷 知沙





発展と国際的課題への対応能力向上への支援

中 目 標

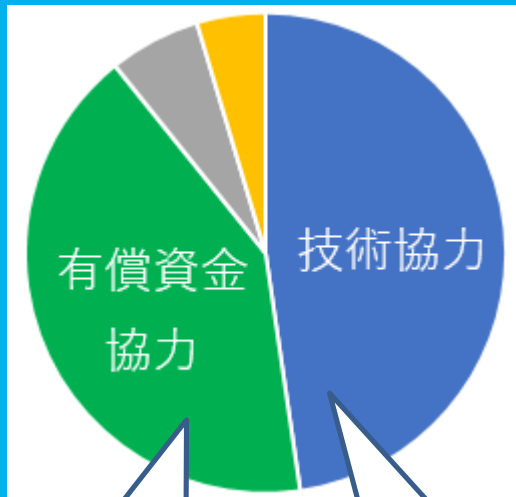
発展と国際的課題への対応能力向上への支援

均衡ある発展を通じた安全で公正な社会の実現に向けた支援

アジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上に向けた支援

インドネシアで実施中の農業関連事業

技術協力

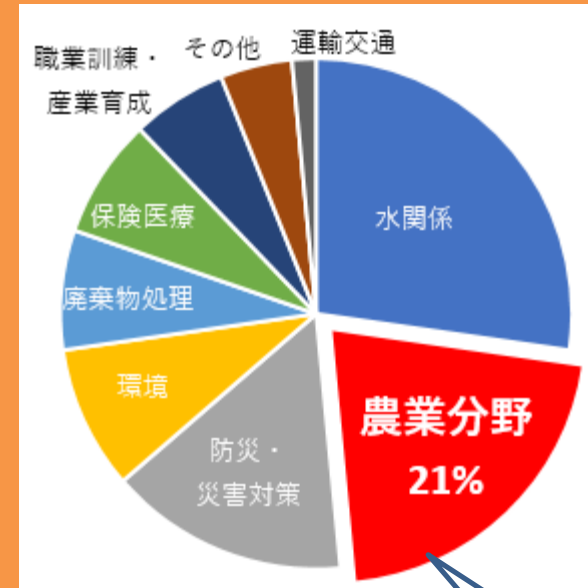


※案件数に基づく統計



全65案件中9案件が農業/水産関連
※ 2019年7月1日時点の案件数に基づく

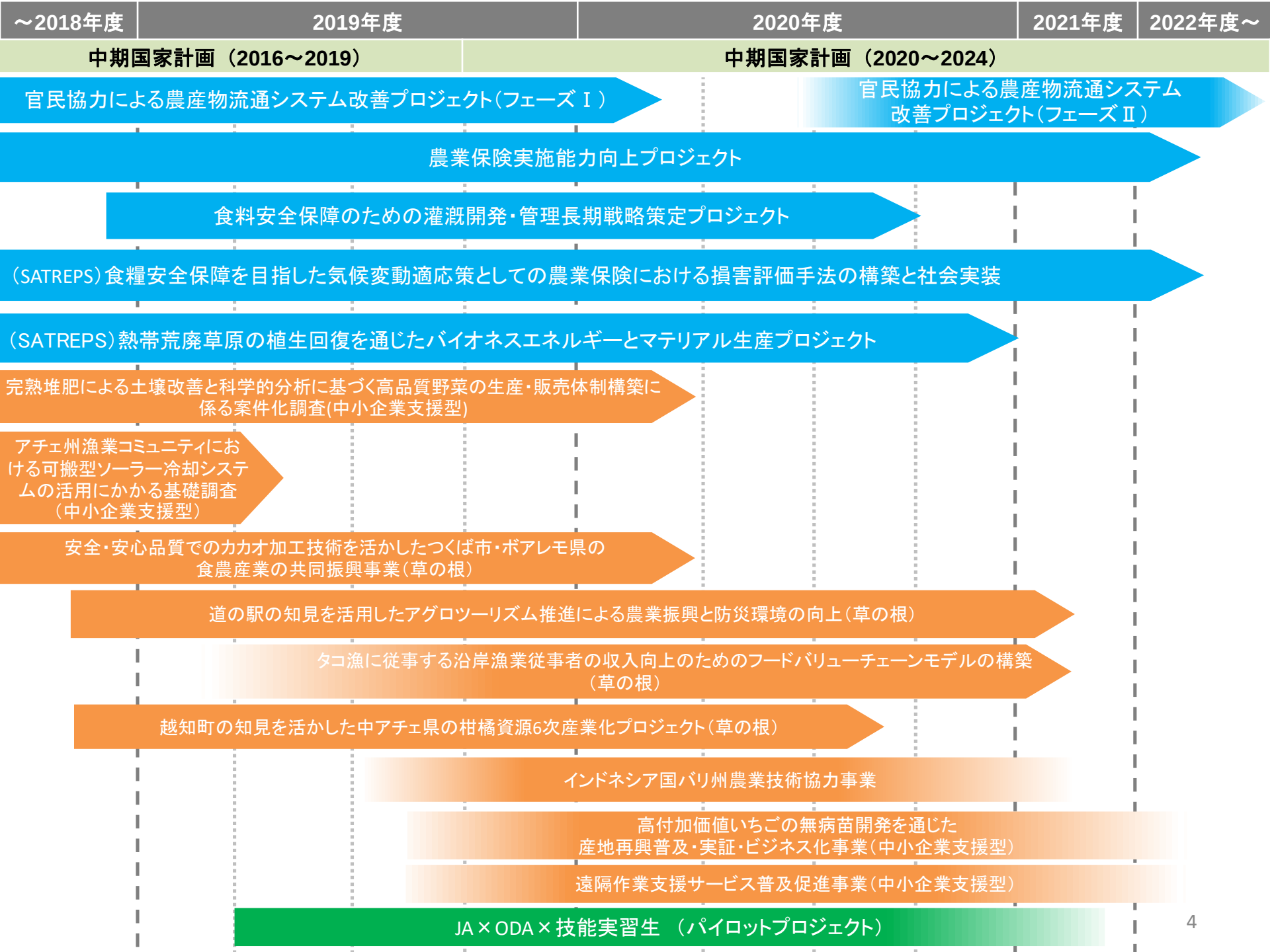
民間連携事業



※案件数に基づく統計

農業分野の案件が**第2位**！

※2017～2019年度以降に実施の中小企業支援案件および草の根事業のみを抽出



技術プロジェクト紹介①

官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト(フェーズⅠ)

FVCの代表案件！
積極的な民間連携！
日本野菜の種苗登録！
農家の金融アクセス改善！

Calbee Wing社の
加工用ジャガイモを契約栽培！



日・ASEAN食料農業
親善大使である
JKT48元メンバーの
Melodyさんとコラボ



インドネシアでは、近年の経済成長に伴い、食品に安全や鮮度を求める消費者の食品嗜好の変化や食の多様化の進行を背景に、食品市場の規模は拡大傾向にある。本事業は、首都ジャカルタへの園芸作物の供給地である西ジャワ州の近隣4県・2市を対象として、農家の所得向上につながる高品質で安全な園芸作物の生産流通システムの近代化を目指す。

安全・安心な野菜の栽培方法を指導



ユニチカやアサヒHD社と農業用資材の試行を行いながら、日本の最新技術を活用

日本野菜は日系スーパーのPapayaで販売、大人気！

小規模農家向け
金融ローンの申請
支援も実施中！



プロジェクトで栽培された野菜は、AEONや日系レストラン等へも取引中

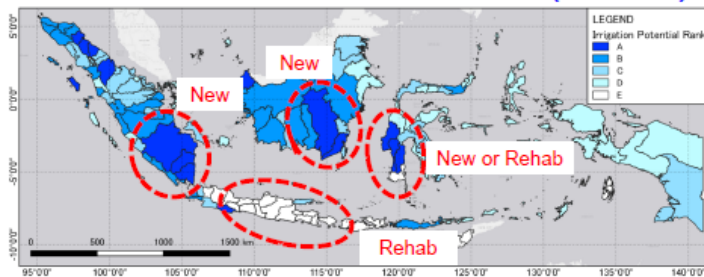
技術プロジェクト紹介②

食料安全保障のための灌漑開発・管理長期戦略策定プロジェクト

コメの自給率100%&灌漑施設の近代化を見据えた長期マスタープラン！日本の技術を海外へ！

2044年時点での人口増加の傾向とコメの需要を予測した上で、自給率100%を目指すために必要な灌漑面積(新規・リハビリ・近代化)を算定し、候補地を選定

PRE-SELECTION OF PHASE 2 AREAS (4 AREAS)



調査結果はインドネシアの中期国家計画に反映！

インドネシアでは、コメの自給自足達成は大きな政策課題となっているが、土地改良や品種改良により、1984年および2007年にコメの自給自足を達成したものの、現状は他国から輸入している。現政権は、コメを含む食糧を輸入に頼らない「食糧主権」を掲げ、コメを含む食糧増産とともに、地域間格差の是正の為、農民等の所得向上に資する灌漑等の整備を政権公約としている。よって本調査で食料安全保障のための灌漑開発・管理長期戦略を策定し、これらの開発計画に資することを目指す。

日本の土地改良区とインドネシアの水利管理組合との相互技術交流セミナー(計3回実施)



技術プロジェクト紹介③

(SATREPS) 熱帯荒廃草原の植生回復を通じたバイオエネルギーとマテリアル生産プロジェクト

新しいバイオマスエネルギーの開発！
共同研究による人材育成！

京大大学生存圏研究所
とインドネシア科学院と
の共同研究



長期研修員が京
都大学で修士号
取得

本邦での
短期研修
も実施！



インドネシアでは大規模な森林開発の結果、熱帯林伐採跡地に1000万ヘクタールにのぼるアランアラン(熱帯雨林の伐採後に生える植物)の草原が発生しており、同地の効果的な活用方法の開発が必要とされている。本事業では、アランアランをソルガムに転換し、ソルガムから木質ペレットへ加工するというバイオマス生産農地へ基盤技術を開発し、インドネシアにおけるバイオマスエネルギーの提供に貢献するものである。

ソルガムを木質ペレットや木質ボードに再利用！

民間連携事業 紹介

バトゥ市青果物のサプライチェーン再構築と福島との共同ブランディング事業(案件化調査)

6次産業化
「福島モデル」の
ノウハウ



- 提案企業：株式会社銀嶺食品
提案企業所在地：福島県福島市
サイト・C/P機関：東ジャワ州バトゥ市、ジャカルタ
- 本調査により検討されたバトゥ市の農産物のブランディングスキーム、統合的な品質管理を活用し、バトゥ市の農産物の統合的な品質管理体制の構築のODA案件を計画する。
 - バトゥ市がモデルとなり、インドネシアにおいて今後高まる安全・安心な農産物へのニーズに対して応えられる国内の各産地の農産物のサプライチェーンの統合的な品質管理の普及が期待される。

高付加価値いちごの無病苗開発を通じた産地6次化(案件化調査)

技術プロジェクト
と連携！



- 提案企業：有限会社木之内農園
提案企業所在地：熊本県阿蘇郡
サイト・C/P機関：西ジャワ州ガルト県・ガルト県農業局
- 無病苗の導入による持続可能な産地開発の実現を通じて成功モデルを確立し、無病苗のニーズ拡大。
 - 食品加工メーカー等との連携で加工品・観光農園を始めとする6次産業化により農業を高付加価値化。

JA × ODAの試験的取り組み

JA邑楽館林(群馬県)の若手職員3名をインドネシアに短期派遣！

JAの知見を海外へ！
今後の取り組みに関
する可能性と課題を
再確認

2019年7月14日から8月8日まで、
「官民協力による農産物流通シス
テム改善プロジェクト」に派遣。
現地調査及び事業支援活動を実施。

営農指導

ほ場巡回（営農助言）
・かん水の頻度助言
・インゲン苗の間引き等



クロダニンジンの販売促進活動

包装作業の改善（見栄え向上）



金融分野

小規模農家向け政府金融ローン
の申請手続きの支援

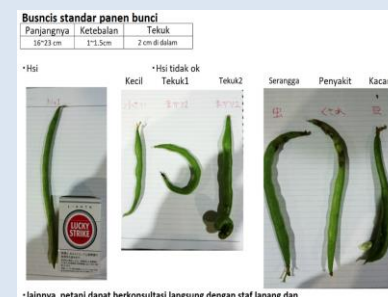
銀行（BNI）と
の協議への同席



申請を検討
する農家と
の打合わせ

出荷支援（インゲン）

インゲンの規格外品の選別のための
基準を作成するとともに、収穫
のためのインゲン測定紙を作成

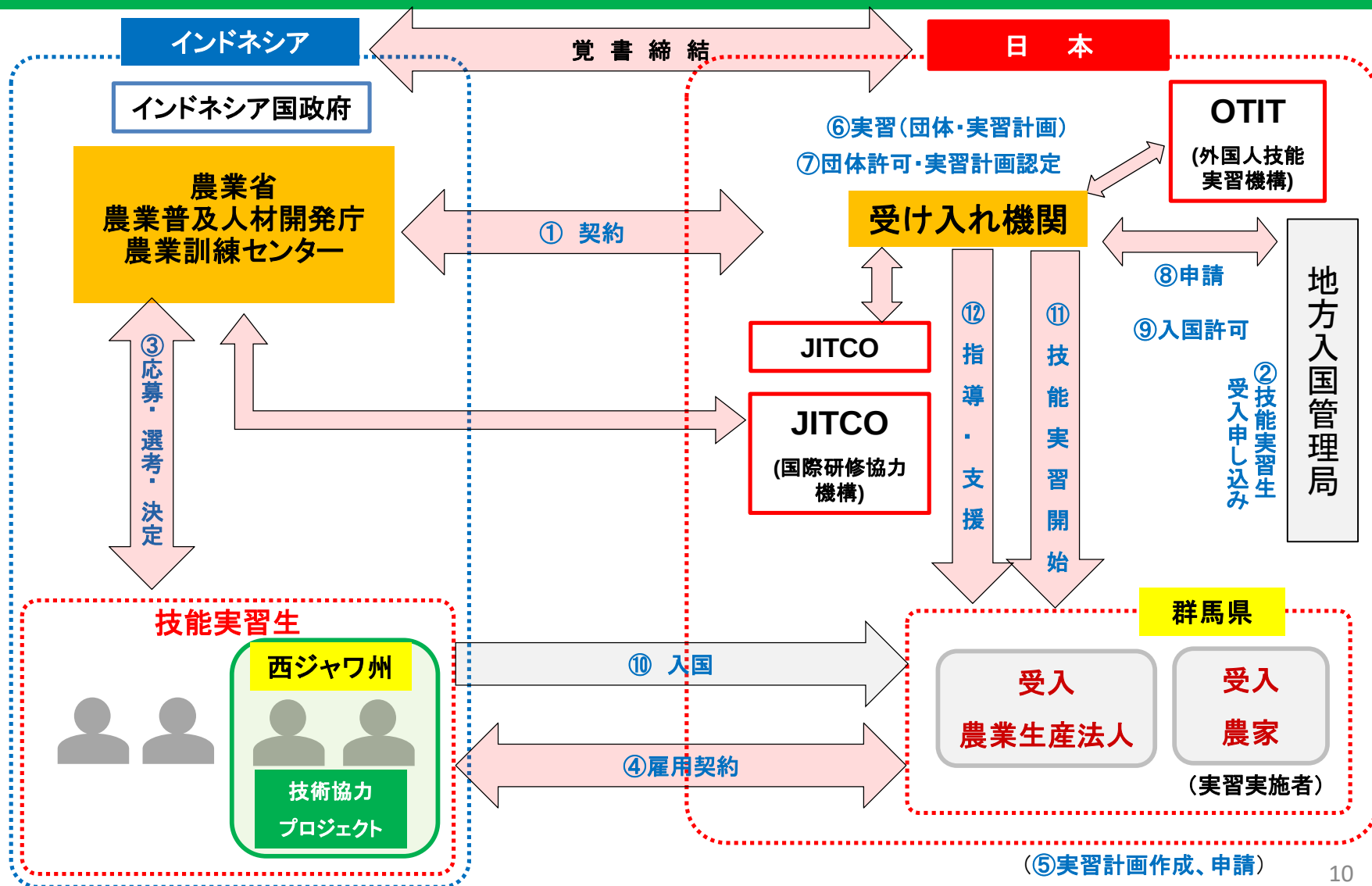


AEONモールでの販売促進活動



技能実習生 × ODAの取り組み

インドネシアから群馬県への技能実習生派遣の流れ(例)



インドネシアにおける農業分野の協力の方向性

国際市場におけるインドネシア産農産物の競争力強化

農家の所得向上による格差是正

日本の技術・
知見を活用
できる可能性
が多い！

農業の脆弱 性緩和

農業保険制度の
更なる普及

小規模農家向け
金融アクセス改善

農家の能力 強化

帰国後の
技能実習
生の支援

栽培技術の向上に
よる農産物の高付
加価値化

農家の組織化・産地
形成による交渉能
力・販売力の向上

農産物の競 争力強化

農業機械化によ
る生産性の向上

コールドチェーン
の整備などによる
FVC改善